

フジシダ

Monachosorum maximowiczii

コバノイシカグマ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



シ
ダ
植
物

福島県・関東地方以西，四国，九州の自然林内の岩上や地上に群生する暖地性の常緑シダ植物。根茎は小さい塊状で，葉は多数集まって出る。草丈は20～60cm。葉柄は褐色で光沢があり，葉身は単羽状複生で，先端はつる状に長く伸びて芽をつける。尾張富士で発見されたのでフジシダという。県内では生育地が限られており，風水害や自然林の伐採などによる生育環境の悪化が懸念される。

(写真：辻 寛文 文：高岡芳憲)

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地，由布・鶴見火山群，九重火山群，北川上流域

分布域 本州(福島，関東地方以西)，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
中国，台湾

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，祖母傾]